

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公表番号】特表2017-532511(P2017-532511A)
 【公表日】平成29年11月2日(2017.11.2)
 【年通号数】公開・登録公報2017-042
 【出願番号】特願2017-518149(P2017-518149)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 7/08 (2006.01)

B 6 2 M 9/16 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 7/08 Z

B 6 2 M 9/16 C

【手続補正書】
 【提出日】平成30年9月25日(2018.9.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ライン手段用のテンショニング装置であって、

前記装置は、前記装置を通して延びるライン手段上に配置可能であり、前記装置は、第 1 部分と第 2 部分と第 3 部分とを備え、それぞれの部分は、前記装置を通して延びるライン手段との接触点となるための接触面を有し、前記第 1 部分、第 2 部分及び第 3 部分のそれぞれの相対的位置は、前記第 1 部分から前記第 2 部分を介して第 3 部分まで前記装置を通して延びるライン手段が、前記第 1 部分と第 3 部分との間の直線配置から前記第 2 部分によって付勢されて前記ライン手段に必要な張力が付与されるように配置される、テンショニング装置。

【請求項 2】

前記装置は本体部を備え、前記本体部は、前記第 1 部分と前記第 3 部分とを互いに所要の間隔で設ける、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記第 2 部分は、前記第 1 部分及び前記第 3 部分の接触面間に延びるラインからの前記第 2 部分の間隔を変更できるように前記本体部に調節可能に取り付けられる、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 2 部分は、前記本体部との相対位置の調節を可能にするように前記本体部と螺合可能な細長部材を備える、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 部分が所要の位置に移動するときに前記本体部に対して係合可能な前記細長部材上に停止部材が設けられる、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記停止部材は、前記第 2 部分の異なる所要の位置のために前記細長部材に沿って選択的に移動できるように前記細長部材に調節可能に取り付けられる、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記装置の調節可能に移動できる部分が整列可能である前記本体部には複数のマーキングが設けられ、それにより、前記装置の調節可能に移動できる部分がどのマーキングと整列しているのかが、前記装置を通して延びるライン手段における張力を示す、請求項4～6の何れか一項に記載の装置。